

目指す未来に合わせた4コース制

将来の進路に応じて選べる「研究」「臨床」「薬局経営」「地域連携・学習支援」の4コースを設置。薬学の知識・スキルと医療人マインドに加えて、各分野の高い専門性の修得も目指せます。

目指す将来像

研究コース

医薬品企業での研究開発職、食品会社や化粧品会社での商品開発職、大学など研究機関での研究職を目指したい！

臨床コース

多職種連携・他職種協働の素養を身につけ、病院や調剤薬局の薬剤師として、臨床現場で活躍したい！

薬局経営コース

薬局経営者や企業の管理職に求められる、経営力や組織運営力を備えた薬剤師を目指したい！

地域連携・学習支援コース

行政や医療・福祉の現場と連携して地域の健康を守るとともに、後進育成に求められる指導力を身につけたい！



多職種連携教育

枚方キャンパスの薬学部・看護学部・農学部との連携教育に加え、関西医科大学や地域・社会とも連携した教育・研究環境を整備。今日の医療人に不可欠な「人と向き合い、連携する能力」を育てます。

インキュベーションラボ

地域や社会のヘルスケア・ライフサイエンスに貢献するため、2024年11月に新設。枚方キャンパスでの薬・看護・農の共同研究や、産官学の共同研究を推進します。



関西医科大学との連携教育の推進

関西医科大学（枚方市）の医学部・看護学部・リハビリテーション学部とのIPE（多職種連携教育）を実施しており、より実践的かつ専門性の高いチーム医療を学びます。



学修環境

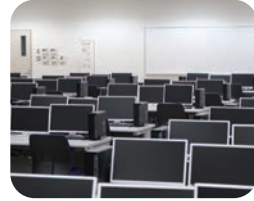
薬学の研究・教育に必要な多くの施設・機器をキャンパス内に備えています。

薬学部附属薬用植物園

教育研究施設として薬学部開設時に設置された、薬学部の附属施設。現在は、キャンパスに隣接する薬草園と大温室、キャンパス内に設けられた果樹・薬樹園からなり、園内では、日本薬局方収載生薬の基原植物を含む薬用・有用植物約300種を栽培しています。薬学部生向けの実習に加えて、地域貢献活動として、園内で薬草見学会を開催したり、地域の健康フェスティバルで薬草展示会や健康茶の試飲会を実施したりしています。



保険薬局実習室



情報処理演習室

薬剤師国家試験

6年制移行後の卒業生
7,608人中7,471人 **98.2%**合格

国家試験合格に向け6年間をとおしてサポートします。基礎力と主体性を高める充実した初年次教育もその一環です。3年次後期には3年間の総復習を行う演習を実施。全科目を学び直すなかで科目間のつながりも深く理解できます。4年次には薬学共用試験対策、6年次には国家試験対策の講座や演習、特別補習なども行います。

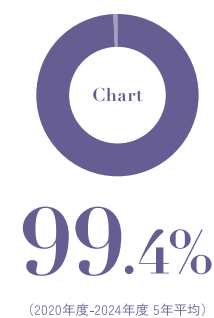


卒業後の進路

医薬品企業での研究・開発職、チーム医療に携る病院薬剤師、地域医療に貢献する薬局薬剤師、行政機関での衛生行政担当など、幅広い分野で活躍しています。

【病院】地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター／地方独立行政法人大阪府立病院機構／市立柏原病院／学校法人金沢医科大学 金沢医科大学病院／学校法人関西医科大学 附属病院／社会医療法人同本病院（財団）京都同本記念病院／公立大学法人京都府立医科大学 附属病院／独立行政法人国立病院機構／公立大学法人奈良県立医科大学 附属病院／市立奈良病院／日本赤十字社 伊勢赤十字病院／日本赤十字社 大阪赤十字病院／兵庫県立こども病院／学校法人兵庫医科大学 兵庫医科大学病院／国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院／市立ひらかた病院／独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター／パナソニック健康保険組合 松下記念病院／地方独立行政法人りんくう総合医療センター／公立大学法人和歌山県立医科大学 附属病院 【薬局】株式会社アインファーマシーズ／株式会社アカベ／イオンリテール株式会社／ウェルシア薬局株式会社／株式会社キリン堂／株式会社ココカラファインヘルスケア／株式会社サエラ／株式会社サンドラッグ／株式会社スギ薬局／日本調剤株式会社／株式会社ファルコファーマシーズ／ファルメディコ株式会社／株式会社ゆうホールディングス／株式会社ユタカファーマシー 【企業】アステラス製薬株式会社／アストラゼネカ株式会社／日本イーライリリー株式会社／エーザイ株式会社／株式会社太田胃散／大塚製薬株式会社／小野薬品工業株式会社／興和株式会社／参天製薬株式会社／塩野義製薬株式会社／第一三共株式会社／武田薬品工業株式会社／中外製薬株式会社／扶桑薬品工業株式会社 【公務員】大阪市役所／大阪府庁／京都府庁／京都市役所／厚生労働省 地方厚生局麻薬取締部／滋賀県庁／富山県庁／奈良県庁／和歌山県庁 ※2020年度～2024年度卒業生実績

進路先満足度



Environment

Data

目指す未来に合わせた
コースで学ぶ

摂南大学
薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

学びのガイドブック

主体性を育む徹底した初年次教育

主体的な学びを支援する「学習支援時間」、少人数のグループワーク「薬学基礎演習」を軸に、主体的かつ協調的な学びの姿勢を徹底的に育てます。

■ 1年次前期時間割モデル						86%の学生が活用中！	物理・化学・生物の専門基礎科目
	月	火	水	木	金		
1限	教養科目	薬学物理	薬学化学	生化学	生理解剖学Ⅰ		火・水・木の3限を出席自由の学習支援時間として確保し、多くの教員が参加して質問に対応。学んだ内容の振り返りがいつでもできる環境を整備。自分のペースで理解を深め、使える知識としての定着を！
2限	教養科目	薬学物理	薬学化学	生化学	生理解剖学Ⅰ		
3限	教養科目	学習支援	学習支援	学習支援	教養科目		
4限	教養科目	薬学基礎演習Ⅰ	薬学基礎演習Ⅰ	薬学基礎演習Ⅰ	教養科目		スモールグループディスカッション（SGD）を通して、チームプレイに求められる協調性・主体性・能動的に学ぶ姿勢を身につける！
5限		薬学基礎演習Ⅰ	薬学基礎演習Ⅰ	薬学基礎演習Ⅰ			



基礎・専門・臨床を 連携させたカリキュラム

初年次教育の充実に加え、臨床教育を低年次から実施し、医療人マインドを育成。基礎・専門・臨床の各科目を連携しながら横断的な教育体制を整備。臨床現場で求められる応用力を養います。

カリキュラム例

基礎教育（1年次）

「薬学物理」「薬学化学」「生化学」で学ぶ学習事項の連携を重視。一つの事項を物理・化学・生物の切り口で多角的に学習するため、知識に繋がりが生まれ、理解が深まります。

専門教育

「臨床医薬品化学」では、代表的8疾患の症例を題材に、病態生理学・薬理学、医薬品化学の知識を相互に連携させ、病気になる仕組みと治療により回復するメカニズムを理解します。

臨床教育

「臨床薬学Ⅱ」では、専門教育と臨床教育の融合を意識し、多角的な視点から、臨床現場を想定した課題に取り組み、自ら問題点を見出す力、医薬品情報の活用法、適正使用の考え方を身につけます。

学んだ知識を連携させて一つの課題を多角的に捉える視点を身につける

多角的に捉える視点を臨床課題に応用する

Points

摂南大学

学びのポイント

